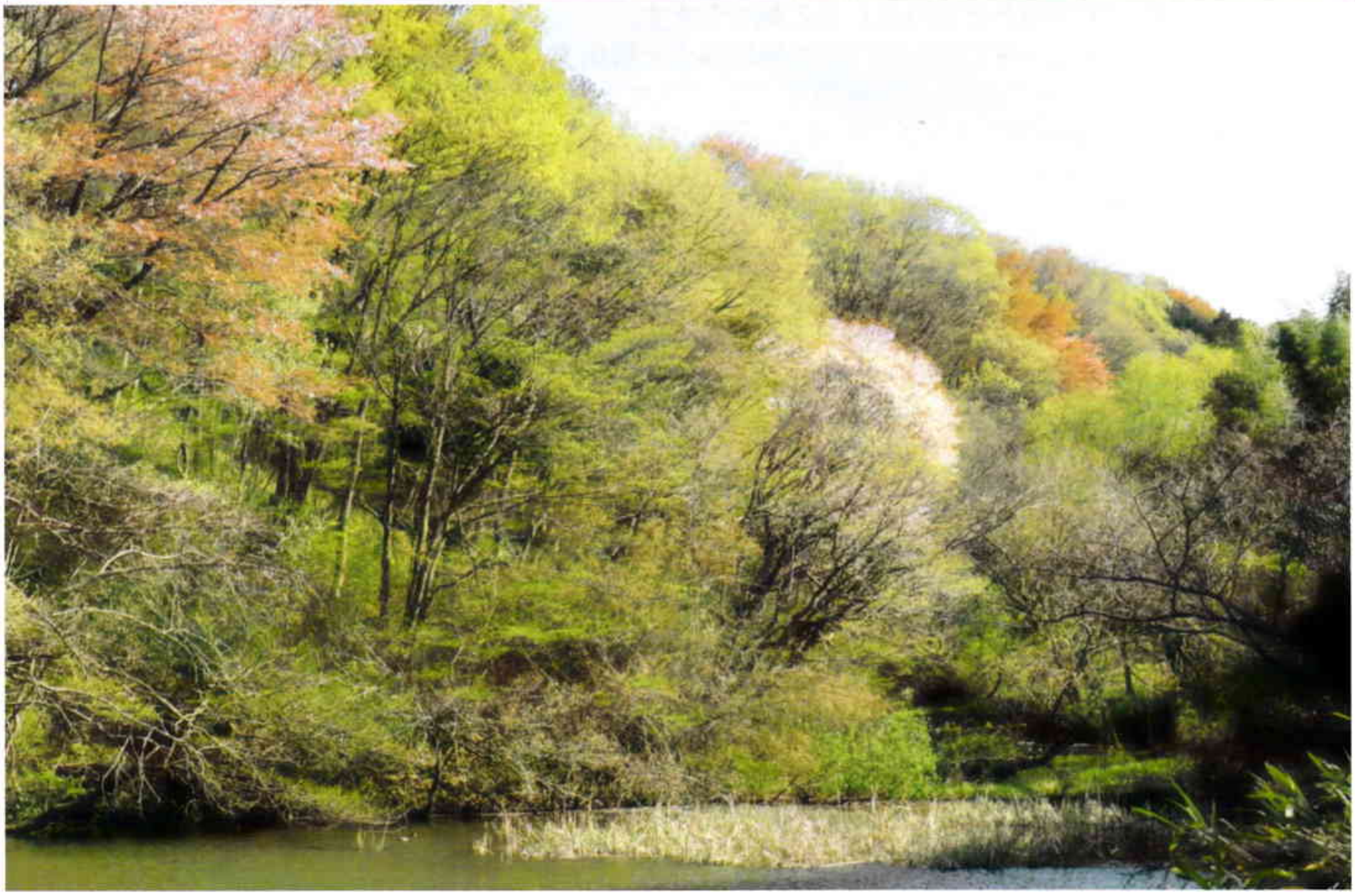
2023年5月吉日発行

宇津貫みどりの会

第104号

宇津貫みどりの会
連絡先　吉原　邦男
utsunukimidori@yahoo.co.jp



皆さん、こんにちは。4月より宇津貫みどりの会三代目会長になりました、吉原邦男です。

宇津貫みどりの会は設立32年目となり、宇津貫緑地の「里山の守り手」として自他ともに認める存在となりました。初代会長の今村さん、二代目会長の城所さん、ならびに先輩会員の方々の功績のお陰と思います。

さて、その跡を引き継ぐ訳ですが、私は16年半前にみなみ野シティの形がほぼ固まってから引っ越してきた新参者であり、残念ながら、みなみ野シティの開発前も先輩方のご苦労も存じていません。

しかし、過去を知らないからこそ、みなみ野シティの一住人として、まちなかに存在する身近な自然として、宇津貫緑地を外から見ることができると思います。また、森林インストラクターとして12年の経験もあります。伝統的な山の手入れ、稀少な動植物の保護はもちろんですが、さらに、ニュータウンに残された森として、近隣の方々が自然に親しみ、自然の不思議を体験するための「ふるさとの森」に育てていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。

宇津貫みどりの会
吉原　邦男

宇津貫緑地へのお誘い

宇津貫緑地の手入れ作業の見学、および体験は随時受け付けています。会のホームページにて、活動日をご確認の上、お問い合わせください。

連絡先　：　utsunukimidori@yahoo.co.jp

当会のホームページをご覧ください。
http://utsunukimidori.ie-yasu.com/

又は、QRコード

宇津貫みどりの会って何をするの？
～会の紹介～

今回は、私達 「宇津貫みどりの会」 をご紹介します。

宇津貫みどりの会は、宇津貫緑地の自然環境保全と里山文化の継承を目的に、地元の有志が集まって発足したボランティアによる任意団体です。そして、その活動は、大きく次の3つになります。

1、宇津貫緑地の自然環境を守る活動
2、宇津貫緑地の自然に親しむ活動
3、みなみ野シティ開発前の歴史・文化の伝承活動

1、宇津貫緑地の自然環境を守る活動

会の主たる活動であり、八王子市の公園アドプト制度(注1)により、指定管理者の下で、宇津貫緑地の特別保存ゾーン内の雑木林の手入れを行い、動植物の生息する環境を保つ作業をしています。

具体的には、植物の一年のサイクルに合わせて、下草刈りと落ち葉掃き(集め)を中心に行い、竹林の整備、実生苗の育成と移植、さらに、堆肥作りも行っています。またそれらの作業の合間に、緑地内作業路の整備、枯損樹木の伐採、植物の生育状況に応じた手入れ(環境改善)などです。

下草を刈り、落ち葉を除くことにより、地面に陽が当たり、明るい環境を好む植物が生え易くなります。一方、暗く湿った環境を好む植物もあります。生えている植物に好ましい環境を整えると同時に、緑地内に多様な環境を残すことで、希少種を含む多くの植物を保護することになります。そして、多様な植物があれば、それを好む昆虫や鳥などの動物も色々な種類が集まって来ることになります。

明るい尾根で咲くヤマツツジ

コナラと共生するキンラン

なお、宇津貫緑地および周辺では、昭和30年頃までは、薪や炭を取るために、萌芽更新(注2)という方法で定期的に木を伐り、またそれ以降も畑の堆肥作りに大量の落ち葉を集めていました。
しかし、現在では木を運び出すことも、農業との結びつきもなくなり、人の生活と切り離されて、基本的に緑地内で閉じた物質循環となっていて、昔の里山とは役割が異なっています。

(注1)公園アドプト制度
市の公園、緑地を市の支援を受けて、市民が無償で維持活動を行う制度。

(注2)萌芽更新(ほうがこうしん/ぼうがこうしん)
木の切り株から出る萌芽(ひこばえ)を2－3本残して成長させ、15－25年後に再びその木を伐ることを繰り返すことにより、 効率的に木材を産出する方法。

クヌギのひこばえ
2本残す

2、宇津貫緑地の自然に親しむ活動

4頁に紹介するように、緑地を散策する自然観察会や、森の素材を使った工作教室、リース作りなど会員以外の方々を対象にしたイベントや、体験学習および講演会なども行っています。

また、協賛企業、エコ広場や環境市民会議などの他の団体と協働して、環境学習や山の手入れ作業体験なども行い、緑地の自然に親しみ、自然を知り、時には、自然や環境について考える学習の場を提供しています。

自然観察会

小学生の体験学習

3、みなみ野シティ開発前の歴史・文化の伝承活動

(1)記録(本)を通じて

みなみ野シティ開発前の宇津貫町の様子や、この地に伝わる伝統的な行事や習慣などの生活も記録して、出版物として伝える活動をしています。

めかごの一例

(2)ものやことを通じて

宇津貫が発祥の地とも言われ、南多摩地区で昔から作られた、目籠(めかご)作りを伝えるお手伝いをしています。また、里山の行事である山の神詣で、注連縄(しめなわ)作りも毎年行っています。

(3)フィールドを通じて

みなみ野シティ内および周辺の史跡や歴史ある神社仏閣、公園や緑地などを巡るハイキング(歴史と緑の散策)を主催しています。

なお、以上3つの切り口で会の活動を紹介しましたが、それぞれを独立して行っているのではなく、すべてを融合した形で活動しています。例えば、自然観察会では、目に見える景色から、昔の宇津貫町の様子や山の手入れについて説明することもあります。

4、その他 会の活動情報

(1)設立　：　1991年10月6日

(2)会員数　：　45名　　賛助企業:3社 (2023年4月1日現在)

(3)活動日　：　8月を除く、第一月曜日、 第二日曜日、 第三土曜日、 活動時間:9～12時
第四日曜日(11月～3月のみ)

(4)年会費　：1,200円 (個人会員)

【イベントの報告】

春の里山散策（宇津貫緑地内散策）

＊日時：4月23日（日） 10時ー12時　曇り後晴れ

39名の方が参加して、緑地の散策を楽しみました。例年なら5月に咲く花である、キンランやフジなどが満開で迎えてくれました。

久し振りに多くの方に集まっていただきました

ヤマツツジを楽しむ参加者

【イベントの予告】

今後、地域の方々が参加できるイベントの予定です。
なお、詳細は、約1か月前になりましたら、HP、ポスター等でご連絡します。

夏休み工作教室

＊日時：7月23日（日） 9時ー12時（予定）
＊受付：宇津貫緑地 ログハウス

秋の里山散策（宇津貫緑地内散策）

＊日時：9月24日（日） 9時ー11時（予定）　（小雨決行）
＊受付：宇津貫緑地 ログハウス前

歴史と緑の散策（みなみ野シティ周辺散策）

＊日時：10月29日（日） 9時ー12時（予定）　（小雨決行）
＊コース：八王子みなみ野駅～宇津貫公園～七国ドッグラン～七国峠～相原中央公園～相原駅（予定）
＊受付：八王子みなみ野駅前　広場

クリスマス・リース作り（野山の素材を使って）

＊日時：11月23日（祝） 9時ー12時（予定）
＊受付：：宇津貫緑地 ログハウス

春の親子自然観察会（宇津貫緑地内散策）

＊日時：2024年3月31日（日） 9時ー11時（予定）　（小雨決行）
＊受付：宇津貫緑地 ログハウス前

【編集後記】
今年は、サクラの開花が例年より非常に早かったことと同様に、宇津貫緑地の花々は1－2週間位例年より早く咲いています。カレンダーを基準にした自分の季節感で花を見に行くと、既に散ってしまったり、盛りを過ぎていることがしばしばあります。しかし、逆に予想外に早い開花に出会うこともあり、実際の季節と自分の感覚のズレをリセットする必要があります。